

## 精華くるりんバス ルート変更案



## ●ルート変更案

猪田駅東バス停（仮称）の新設に係るルート変更

## ●ルート変更目的

精華くるりんバスの北ルートエリアにある猪田駅東特定土地区画整理事業区域内において、近鉄猪田駅前の広場が平成27年度末までに完成する予定であることを受けて、駅前の商業施設や駅周辺地域の住宅の張り付きを見越し、猪田駅へのアクセス性を向上させるため。

## ●ルート変更することによる現状からの変化の概要

## ・バス停の新設

むくのきセンター→**猪田駅東**→舟（現状：むくのきセンター→舟）

## ・距離の増加

年間約3,200km増加（一日増加距離約9km）

## ・運行費用の増加

年間約126万円増加（一日増加費用約3,500円）

## ・運行時間の増加

一回の運行で約6分増加

## ルート変更比較表

	総距離(km)	運行費用(千円)	運行準備物(千円)	運行経費(千円)	運賃収入(千円)	広告収入(千円)	委託費(千円)
(a)ルート変更しなかった場合	97,181.30	36,678	86	36,764	7,144	1,220	28,400
(b)ルート変更した場合	100,412.30	37,936	600	38,536	7,144	1,220	30,172
(b) - (a)	+3,231	+1,258	+514	+1,772	±0	±0	+1,772

### ●ルート変更後の利用者数の見通し

今回ルート変更を計画している北ルートは、南ルートに比べ公共公益施設や商業施設の立地が少ないことから、一日の利用者平均は40人弱という状況である。

このような状況（施設立地状況や利用状況）の中、今回のルート変更に伴い、運行距離や時間が増えるものの、ルート変更による利用者への影響は少ないものと思われる。

一方、今後の見通しとしては、狛田駅前広場への乗り入れに伴い、駅利用者の利便性が向上し、近鉄狛田駅とJR下狛駅から舟や滝ノ鼻地区方面へ新たな利用が見込まれるとともに、今後整備が予定されている駅周辺の商業施設の立地の促進にもつながることから、利用者の増加を見込んでいる。